

こらぼ大森イベント掲示板

未来の「いざ!」のために 役立つ楽しい防災イベント(講座)

防災

いつ起こるかわからない災害に備えて、今の自分にできることがあります。
それを楽しみ体験して共有します。そして、非常食ランチ会で交流しましょう。

<体験>

・サバイバルチャレンジ ・耐震相談 ・ザクザクふみふみ体験 ・あかり体験

<講座>

・だれでもすぐできる家具転倒防止術(60分) ・なるほど非常時のトイレ術(30分)

<交流>

・非常食でランチ会(要申込み)

日 時: 2月26日(日) 10:30~14:30

場 所: こらぼ大森 1F 多目的室・いろいろルーム・ふれあいコーナー・軽食コーナー

参加費: 無料

対 象: こらぼ大森近隣の住民の方々、NPO・区民活動団体の方々 他、どなたでも

定 員: ランチ会 35名(下記問い合わせ先までご連絡ください) **体験・講座は申込不要・入退室自由です!**

主催・お問合せ先: こらぼ大森情報交流室 I (☎:03-5753-6560 / mail:cbc10286@nifty.com)

協 力: 防災まちづくり研究会

非常時に役立つ
あかりは?

家の中でケガを
しないためには?

体験して
考えましょう!



お餅つきイベント

新春の餅つき大会にご参加を!

大森西の各町会では、餅つき大会が今年も2月から3月に開催されます。ご近所みなさんとお餅を頬張りながら、親睦を図りましょう。お子さんも大歓迎です。詳細はお住いの各町会にお問い合わせください。

こらぼ大森ボランティア募集!

ボランティアの「はじめの一歩」-出来ることから-

内容: お花の水やり イベントの準備
ニュースや冊子の袋詰め など

活動日: 毎週木曜日

ご都合に合わせての調整も可能です。

申込み: 右記連絡先までご連絡ください。

こらぼ de アート

アートでつながる人・地域・こらぼ

日 時: 3月11日(土)・12日(日)

午前10時~午後4時(12日は午後3時終了予定)

会場: こらぼ大森

展示: イラスト・絵手紙・折り紙・書・写真・手芸など

講演: 『町工場のモノづくりの力-「下町ボスレー」の取り組み』

講師: 舟久保利和氏【㈱昭和製作所 代表取締役社長】

12日午前10時~11時30分 多目的室にて

主催: こらぼ大森情報交流室 I (☎:03-5753-6560)

発 行: こらぼ大森ニュース編集委員会

TEL/FAX: 03-5753-6560

E-mail: cbc10286@nifty.com

U R L: http://collabo-ohmori.com/

住 所: 大田区大森西 2-16-2

大田区区民活動支援施設大森【こらぼ大森】

こらぼ 大森 第20号 ニュース

- 如月の寒さを吹きとばすお餅つき
- LET'Sこらぼ 健やかに子どもを育む地域の協働
- 私の菊づくりは朝飯前?
- 本: 稼ぐNPO-利益を上げて社会的使命に突き進む-
- 掲示板「防災イベント」「こらぼdeアート」など



如月の寒さを吹きとばす! -お餅つき-

1年の中でも特に寒さの厳しい2月、昔ながらの臼と杵を使ったお餅つきは、今でもどこか懐かしさを感じさせる冬の風物詩ですね。つき手と相の手の息の合った動きの中で、蒸されたばかりのお米がだんだんお餅に姿を変えていく様子は、不思議と目が離せなくなります。はじめは遠目で眺めていた人たちも次第に集まってきて、子どもたちが「こんどはボクが」と大人の人に助けてもらってペタンコ、ペタンコ。こんな体験は、子どもたちの心にも長く残る事でしょう。楽しいお餅つきは今も地域の繋がり作りに一役かっています。

Let's こらぼ



NPO 法人ネットワーク Bear は、保育活動を通じて、女性の社会参加の支援と地域との連携、社会性や主体性を育む子育て支援を行っています。過去には、こらぼ大森共同事務室に入居されている時期もありました。こらぼ大森をはじめとした地域での連携の実践とその思いに触れてご寄稿いただきました。

健やかに子どもを育む地域の協働

NPO 法人ネットワーク Bear
理事長 古澤 里美 さん

ネットワーク Bear は、「子どももおとなも仲間の中で育ち合うこと」を大切に子育て支援をしています。子どもも大人も一人ひとりが、自分らしい人生を歩むために、育ちあい、自立する社会をめざす仲間が集まって活動しています。保護者が活動している間、子どもが待っている託児ではなく、仲間の中で育ち合う質の高い“保育”をめざしています。

こらぼ大森では、スポーツ文化創造協議会様の企画で、大森まちづくりカフェ様と3団体の協働事業としての「保育付きバレーサロン」に保育ルームとして参加しています。

子どもたちは、お互いに良い刺激を与える関係の中で、大きな成長を見せてくれています。ママたちからも大好評です。ママたちは、子どもと離れ、バレーを素敵に踊り、その後のカフェでのおしゃべりで、心身ともに健康になり、お友だちも出来て、子育てがさらに楽しくなっているとの声を沢山頂いています。

これも、こらぼ大森で、多くの団体に知り合うことができた成果の一つです。

子育て支援の大きな柱にママ、パパの育児不安解消があります。こうした子育て支援は、地域の力を合わせなければなかなかうまくいきません。地域子育て支援は、今の社会の重要課題です。また「親子であそぼ！」という事業は、キッズな大森の子育て応援コーナー運営委員会の方々と協働で、また地域の民生委員の方々にもご協力頂いて実施しています。

大田区各地域に出向き、親子で遊ぶ楽しさを実感してもらっています。頭、からだ、こころの発達を大切にする内容で、毎回好評です。

地域の子どもたちが健やかに自分らしく生きていくためには、地域のおとな、団体、行政が協働で力を合わせ、安全、安心な地域に変えていくことが必要です。これからも大田区に素敵な協働事業がたくさん増えることを期待しています。



仲間の中で、育ち合う

私の菊づくりは朝飯前？

昨秋、こらぼ大森の玄関を大輪の菊の花が賑やかに飾りました。大田教育支援の会とこらぼ大森園芸ボランティアの皆さんにご協力をいただきました。改めて、御礼申し上げます。中心になり支えてくださった鈴木さんに、菊を育てることの心がけなどお言葉をお寄せいただきました。みなさんも一緒に菊づくりは、いかがですか？

ここ数年、小学校の子どもたち—中学年（4が多い）と一緒に菊づくりを行う機会が増えました。NPOの事業のひとつとして学校が取り入れたからでしょう。また、私も机上では学べない菊の花が咲いたときの感動や、だんだん菊が生長していく様子に心動かされる経験や体験を子どもたちひとりひとりに味わわせたいと思っています。

菊づくりのはじめに、

「私の菊づくりは、朝飯前だよ……」

と話しかけます。子どもたちや菊づくりに興味のある人の多くは“へえー”という顔をします。

恐らく、朝飯前という言葉からの反応でしょう。朝飯前というほど菊づくりは簡単なの。いやいやそんな簡単に菊の花は咲かないよ……。

どうして朝飯前なの？という顔があちこちからうかがわれます。

それは、毎日毎朝の菊たちとの対面を大事にしているということです。

毎日毎朝の菊との対面は、葉の色は…/広げ方…/芽の伸びは…/わき芽は…/土の乾き…などを見て取り、その日の菊の世話として手当てしていくのです。

4月下旬のさし芽から11月下旬の菊花展の終了まで約8か月の長丁場です。さし芽・小鉢上げ・中鉢移植・大鉢への定植……。

その間、施肥・消毒・わき芽とり・摘心・三枝の整枝……蕾の選定・輪台つけ・花の手入れ……等々、仕立ての時期を外さず、日々の菊との対面、積み重ねが大輪の菊を咲かせてくれるのです。



NPO 法人大田教育支援の会
事務局長 鈴木 信司 さん



稼ぐNPO 利益をあげて社会的使命に突き進む

こらぼ大森2F情報交流室1の図書コーナーで貸出している本をご紹介します

著者のひとり、藤岡喜美子氏は、大田区大森にある女性向け創業支設「パシオンT O K Y O」のインキュベーションマネージャーを務めています。

本書では、いわゆる事業型 NPO を「稼ぐ NPO」として位置づけ、日本各地でのその具体的な成功実践例からは学ぶことが多くあります。また、NPO のそもそも論を歴史や社会機能の側面から考察する箇所は、NPO について改めて学びたいという人にも大いに参考になることでしょう。ビジョン達成のためのロジック・モデルの手法や起業家マインドの心がけは、人生の教訓を示唆するようでもあります。

稼ぐNPO

利益をあげて社会的使命に突き進む

後 房雄
藤岡 喜美子

NPO=ボランティアは間違いない

著者：後 房雄
藤岡 喜美子
出版：カナリアコミュニケーションズ